

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
11/29(金)～12/5(木)	<p><small>にんじょうよしかつ もっこうてん</small> 仁城義勝 木工展</p> <p>育つのに50年かかった木を50年は使って欲しい。高価な作品としてでなく、日常使いとして気軽に使え、また大切なことを毎日思い出させてくれる心地よい木の器作りに励む先生の倉敷店初の個展です。一人で一年分の木地を一気に仕上げ、その後漆をふいて最後にまとめて仕上げるスタイルで全国多くのファンをもち、現在山陽カルチャープラザでも指導されています。人気の入れ子椀、応量器など約100点の出品となります。</p>
12/6(金)～12/12(木)	<p><small>おかやま でんとうこうげい むしあけや きくろ いひろ してん</small> 岡山の伝統工芸 虫明焼 黒井博史展</p> <p>虫明焼の起こりはおよそ300年ほど前、岡山藩筆頭家老、伊木家六代忠興が築窯したのが始まりとされています。その後14代三猿齋という大茶人のもと当時の名工の招聘・指導のもと多くの風流人によって愛好される茶陶として、広く名声を馳せるものとなりました。虫明焼は師弟関係によって受け継がれおり、宮川香山、香州、横山香寶、さらに黒井一楽、そして黒井千左から黒井博史へと継承されています。この度博史先生、倉敷店初の個展となります。ぜひご高覧くださいませ。</p>
12/13(金)～12/19(木)	<p><small>が みりょく あり たたくみしん かくてん</small> フレスコ画の魅力 有田巧新作展</p> <p>漆喰の壁にしみこんだ顔料は壁が乾くにつれて明るさを増します。そしてゆっくり時間をかけて壁の中に包まれていきます。砂と石灰の壁に水だけで溶いた顔料で描くこの素朴な技法は遠い国からの魔法のような贈り物だと作家は語る。身近な風景、静物、少年時代の思い出など親しみやすいテーマをフレスコで描く作品には独特のフォルムと色彩、無数の開放感があり、見る者を暖かく迎えてくれます。</p>
12/20(金)～12/30(月)	<p><small>かい</small> チェネト会</p> <p>チェネトとは古代エジプト語で 光輝くもの という意味。オリエント美術を愛好するガラス作家、陶芸家、ジュエリー作家らが美術全般の師と慕っていた奥田仁と倉敷ガラスの小谷真三を中心に結成した会です。小谷真三(倉敷ガラス)、松島巖(コアガラス)、矢野太昭 (フレスコ画、テラコッタ)、榎本勝彦(木工芸)、森山知己(日本画)、児島塊太郎(陶芸)、金重晃介(備前焼)、内山貞和(彫金)と各分野の作家達が集結されたグループ展です。</p>

美術画廊営業時間 午前10時～午後7時30分
 いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。
 ※会期・タイトルは都合により変更することがあります。

お問い合わせ
 天満屋倉敷店 販売計画
 TEL 086-426-2205
 FAX 086-426-1136